

リーフマット模型水理実験後報告書

2回目（2012.11.22～）

リーフマット模型水理実験後写真

トワロン 株式会社

水理実験後の報告

かごの外側に被覆破れの箇所がありました。

その他、側面、内側には被覆破れの箇所はなく、かごの変型もありませんでした。



外圧により
樹脂の破れが
数箇所発生

かご内面 (上蓋)



かご内面



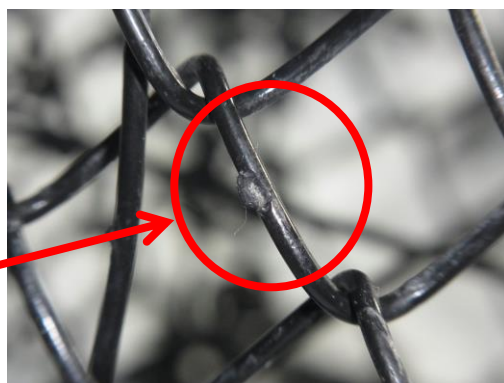
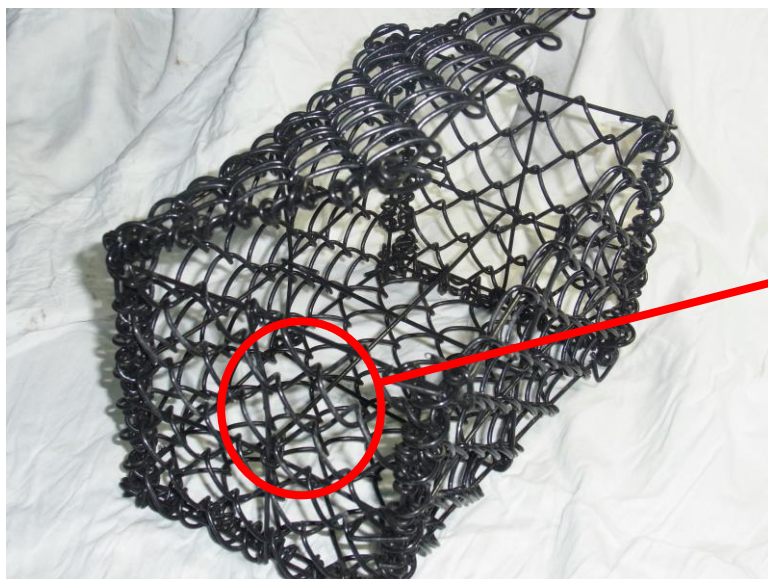
かごの内面には、樹脂破れの箇所はありませんでした。

上記、かご製品を塩水噴霧試験に入れ、サビの進捗状況を確認します。

実施日：2012年11月22日～

完了日：樹脂破れの箇所にサビが発生するまで（500時間毎に取り出し撮影）

0時間 (2012年11月22日)



500時間 (2012年12月13日)



変化なし。

1,000時間 (2013年1月3日)



変化なし。(2012.12.28 実施)

1,500時間 (2013年 1月24日)



変化なし。

2,000時間 (2013年 2月14日)



変化なし。

3, 0 0 0 時間 (2 0 1 3 年 3 月 2 7 日)



わずかに赤サビの発生。

4, 0 0 0 時間 (2 0 1 3 年 5 月 8 日)



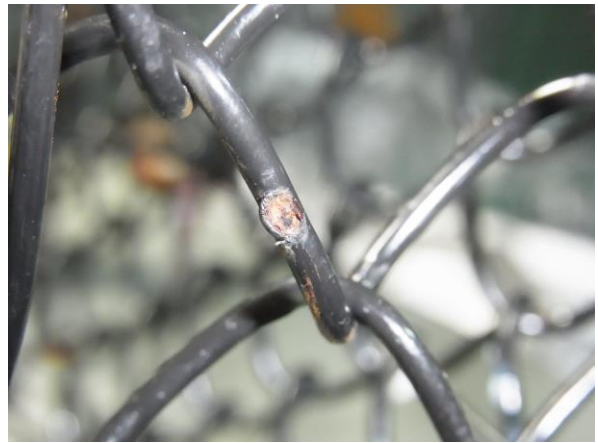
わずかに赤サビの発生。

5, 0 0 0 時間 (2 0 1 3 年 6 月 1 9 日)



赤サビの発生。

6, 0 0 0 時間 (2 0 1 3 年 7 月 3 0 日)



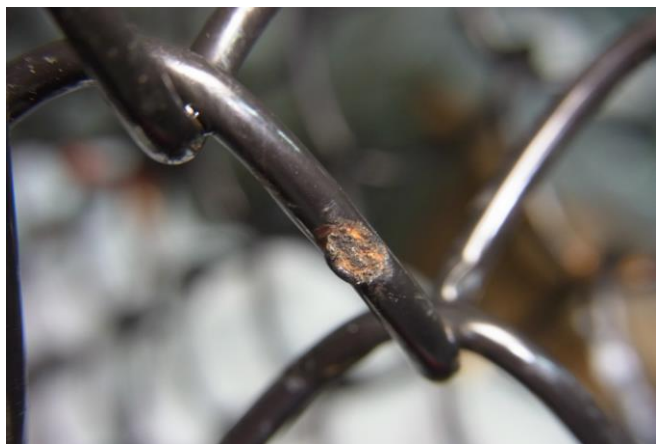
赤サビの発生。

7, 0 0 0 時間 (2 0 1 3 年 9 月 1 0 日)



赤サビの発生。黒く変色。

8, 0 0 0 時間 (2 0 1 3 年 1 1 月 1 日)



黒く変色した部分が広がっているが、全体的に大きな変化は見受けられず。

9,000時間 (2013年 12月17日)



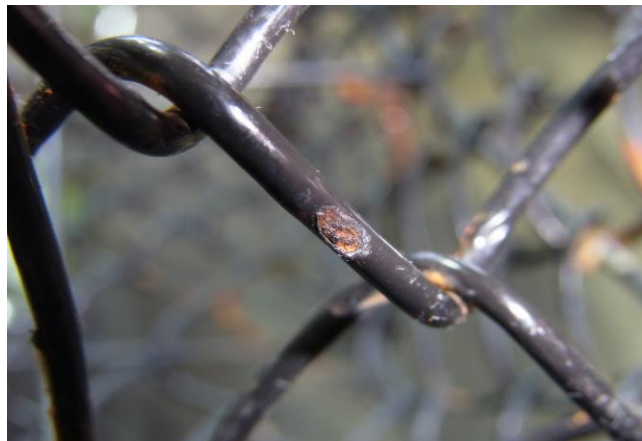
黒く変色した部分が傷全体に広がっているが、全体的に大きな変化は見受けられず。

10,000時間 (2014年 1月28日)



9,000時間から大きな変化は見受けられず。

11,000時間 (2014年 3月11日)



10,000時間から大きな変化は見受けられず。

12,000時間 (2014年 4月22日)



12,000時間から大きな変化は見受けられず。

《結果》

塩水噴霧試験開始から 3,000 時間でわずかに赤さびが発生し、7,000 時間後に黒く変色した。8,000 時間、9,000 時間で黒く変色した箇所が傷口全体に広がったあと、12,000 時間に至っても大きな変化は見受けられなかった。

《考察》

赤さびが黒く変色し、それが広がった後、状態は安定したと考えられる。